

澄み切った月を

蒼白く浮かぶ森
誰もいない灯りもない道
しんと広がる静寂
わたしの影だけが伸びる

立ち止まり
吸い込まれそうな
澄み切った月を
独り占めしているかのような
あの時間を情熱を
いつのまにか手放していた

未来に連れていくには
多すぎる感情を熱量を
わたしは今
どれだけ握りしめているのだろう